

# 2022年度 決算説明資料

保土谷化学工業株式会社

# 目次

**I . 2022年度実績(連結)**

**II . 2023年度・業績および配当予想**

# I . 2022年度実績(連結)

セグメント	事業	主要製品
機能性色素	有機EL材料	輸送材料、発光材料、表面保護材料、PCR診断キット用材料
	イメージング材料	トナー用電荷制御剤、有機光導電体材料
	色素材料	アルミ着色用染料、文具用染料、カラートリートメント用染料、食品添加物、カラーフィルター用染料
機能性樹脂	樹脂材料	ウレタン原料、接着剤、剥離剤
	建築材料	土木・建築用の防水・止水材料、防水・止水工事
	特殊化学品	医薬・樹脂材料・電子材料用の各種中間体
基礎化学品	工業薬品	過酸化水素および誘導品、その他工業用基礎原料
アグロサイエンス	農薬	除草剤、殺虫剤、酸素供給剤
物流関連	物流関連	倉庫業、貨物運送取扱業、ISOタンクコンテナ保管事業

## 通期累計

単位: 百万円  
表示: 百万円未満切捨

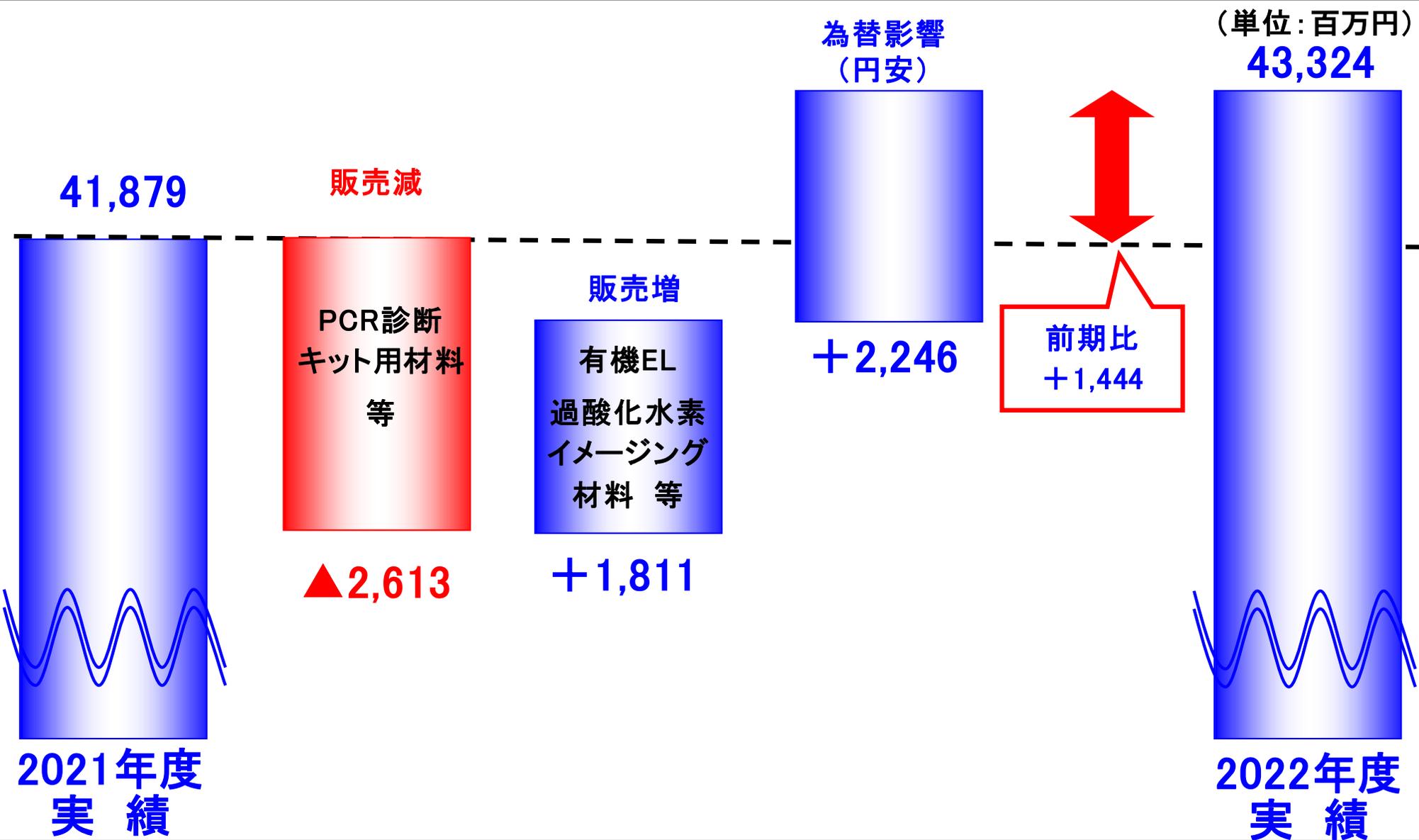
連 結	2021年度	2022年度	前期比
売 上 高	41,879	43,324	+ 1,444
営 業 利 益	6,421	3,701	▲ 2,720
経 常 利 益	6,914	4,211	▲ 2,702
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,251	2,223	▲ 1,028

為替レート

\$=113.06円  
W=0.0968円

\$=136.00円  
W=0.1037円

\$=ドル  
W=韓国ウォン



- ・ **売上高**は、アグロサイエンスが減少したものの、機能性色素、機能性樹脂、基礎化学品、物流関連の増加および、円安の効果により、1,444百万円の**増収**
- ・ **営業利益**は、売上高が増加したものの、PCR診断キット用材料の減少に加え、原燃料価格の高騰や研究開発費等の増加により、2,720百万円の**減益**
- ・ **経常利益**は、営業利益の減少により、2,702百万円の**減益**
- ・ **親会社株主に帰属する当期純利益**は、経常利益の減少により、1,028百万円の**減益**

(単位:億円)

科目	2022年 3月末	2023年 3月末	増 減
(流動資産)	340	365	+25
現預金	109	104	▲4
売上債権	124	129	+5
棚卸資産	93	120	+26
その他	13	11	▲2
(固定資産)	324	354	+30
有形・無形 固定資産	226	239	+12
投資有価証券	79	85	+5
その他	17	29	+12
合計	664	720	+56

科目	2022年 3月末	2023年 3月末	増 減
(負債)	185	221	+36
仕入債務	47	46	▲1
有利子負債	63	105	+41
その他	74	70	▲3
(純資産)	479	498	+19
資本金	111	111	—
資本剰余金	87	79	▲7
利益剰余金	168	186	+17
その他	111	121	+10
合計	664	720	+56

単位：百万円

表示：百万円未満切捨

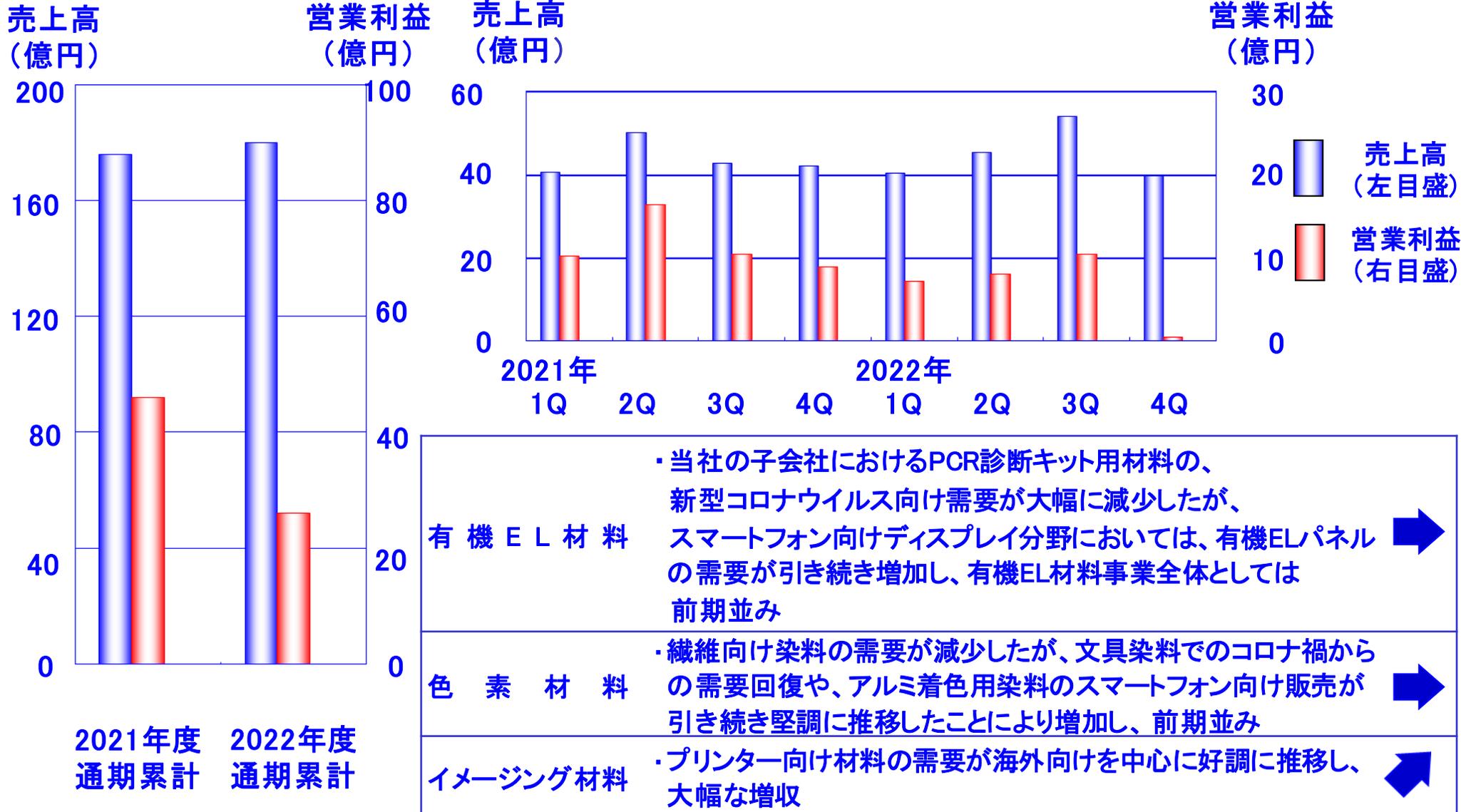
通期累計

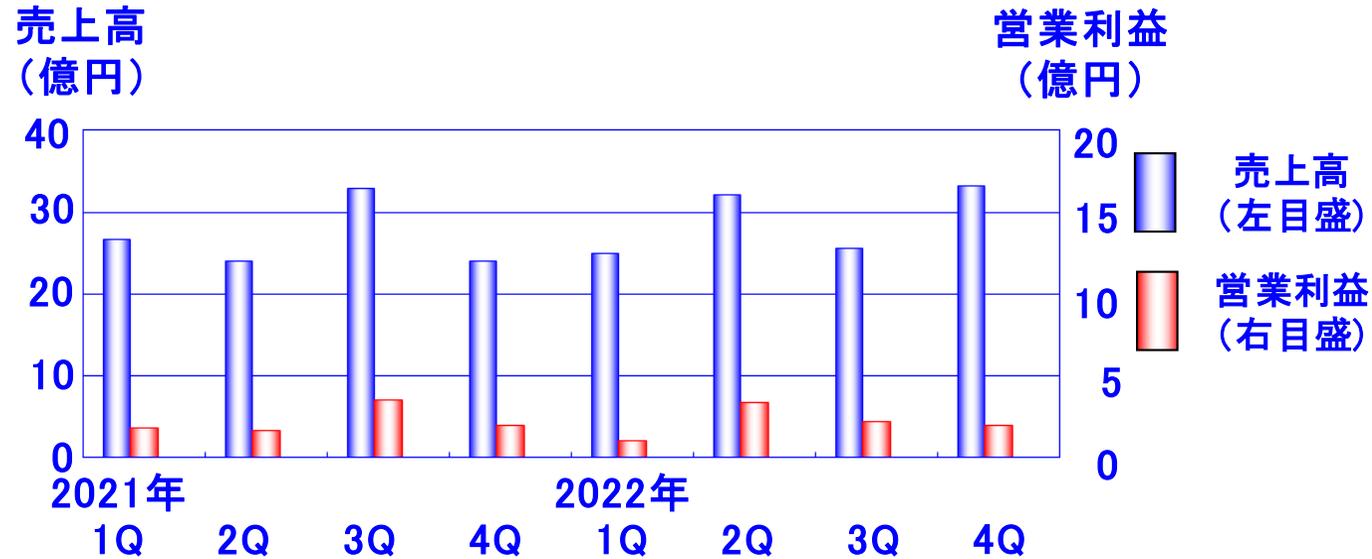
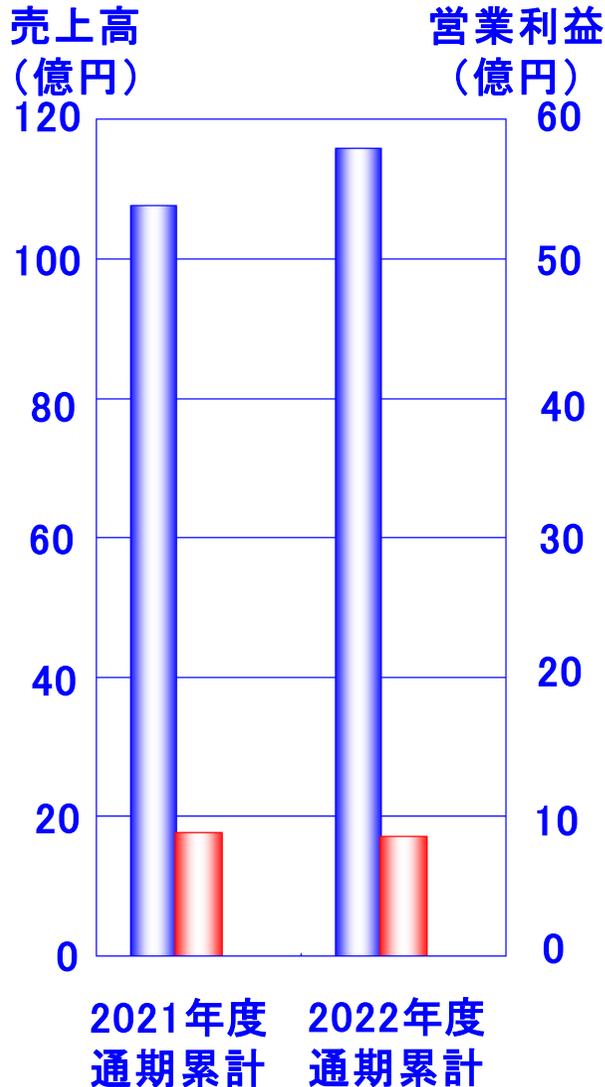
セグメント	2021年度	2022年度	前期比
機能性色素	17,581	17,990	+ 408
機能性樹脂	10,760	11,580	+ 819
基礎化学品	6,753	7,152	+ 399
アグロサイエンス	4,838	4,628	▲ 209
物流関連	1,780	1,874	+ 93
その他	164	97	▲ 66
合計	41,879	43,324	+ 1,444

通期累計

単位：百万円  
表示：百万円未満切捨

セグメント	2021年度	2022年度	前期比
機能性色素	4,598	2,602	▲ 1,995
機能性樹脂	888	861	▲ 27
基礎化学品	291	▲ 575	▲ 866
アグロサイエンス	330	457	+ 127
物流関連	298	341	+ 43
その他	13	12	▲ 1
合計	6,421	3,701	▲ 2,720





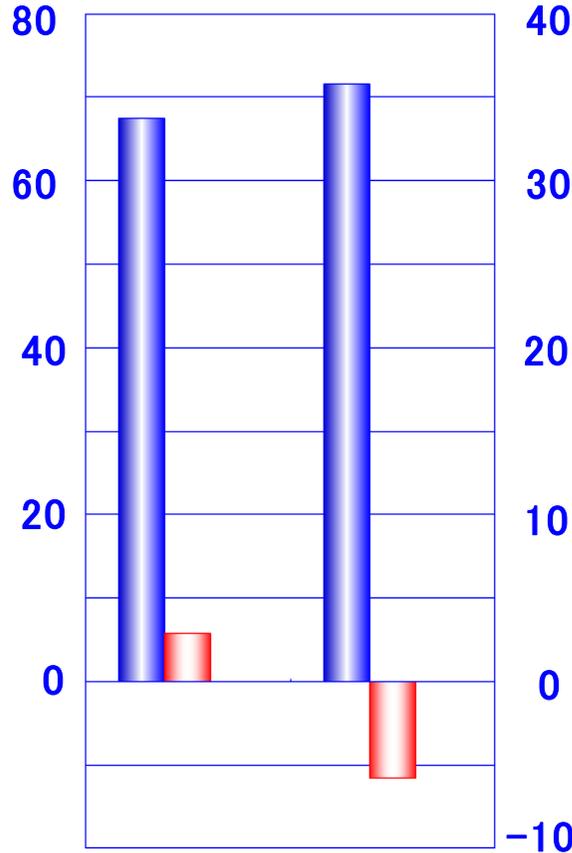
樹脂材料	<ul style="list-style-type: none"> <li>半導体不足の長期化に伴う自動車の減産等を受けタイヤ用接着剤の需要が減少したが、海外向けを主とするウレタン材料の販売増加に加え、為替の円安影響もあり、樹脂材料事業全体として増収</li> </ul>	↗
特殊化学品	<ul style="list-style-type: none"> <li>医薬向け及び剥離剤向け等が好調に推移したことから、大幅な増収</li> </ul>	↗
建築材料	<ul style="list-style-type: none"> <li>大型防水工事の受注減があったものの、材料販売が堅調に推移したこと等により、前期並み</li> </ul>	→

売上高  
（億円）

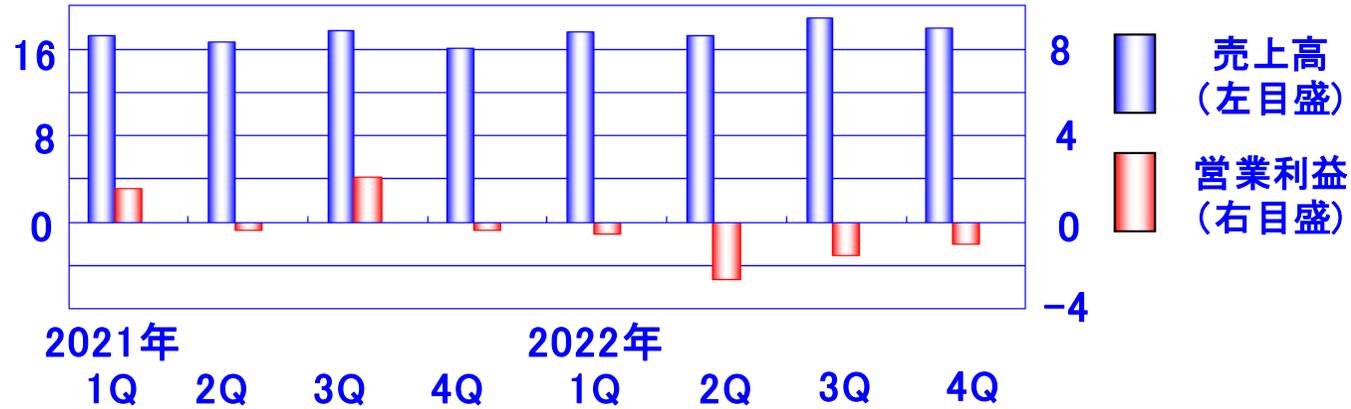
営業利益  
（億円）

売上高  
（億円）

営業利益  
（億円）



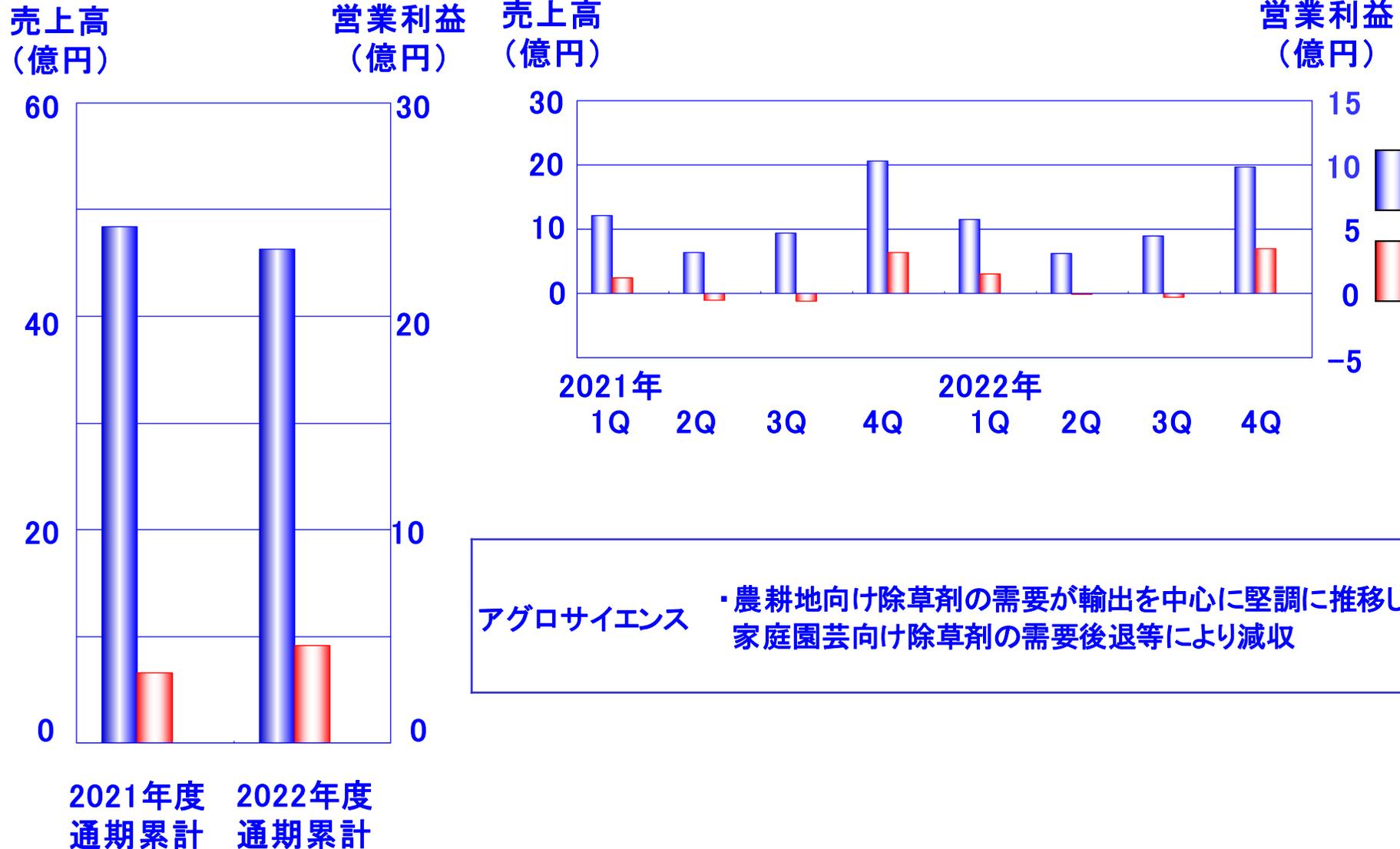
2021年度 通期累計    2022年度 通期累計



過酸化水素及び誘導品（※） 紙パルプ向けや工業薬品向けで需要が減少したが、価格転嫁等により増収

※過炭酸ナトリウム、過酢酸等





アグロサイエンス

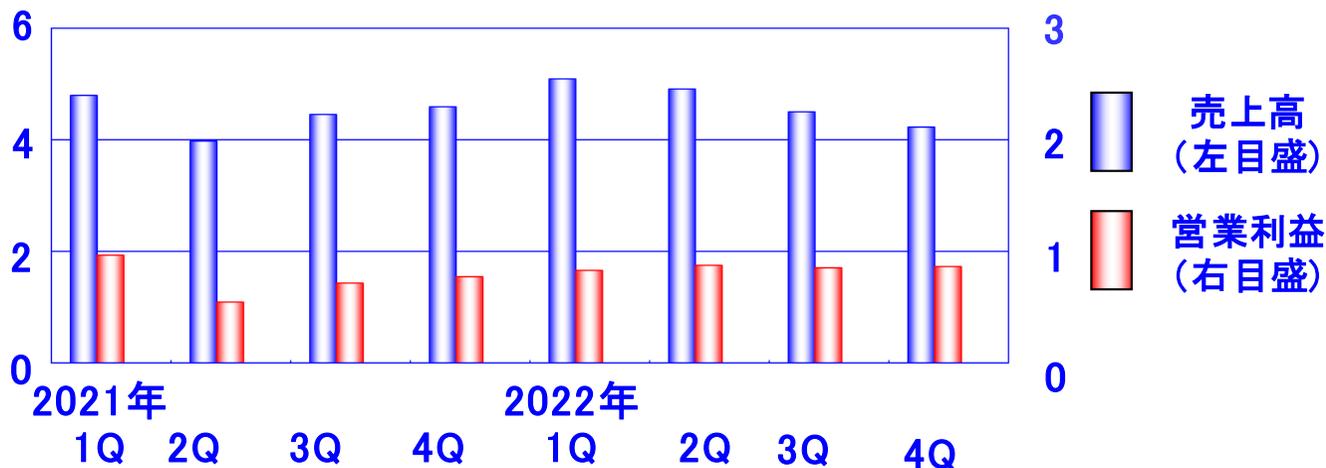
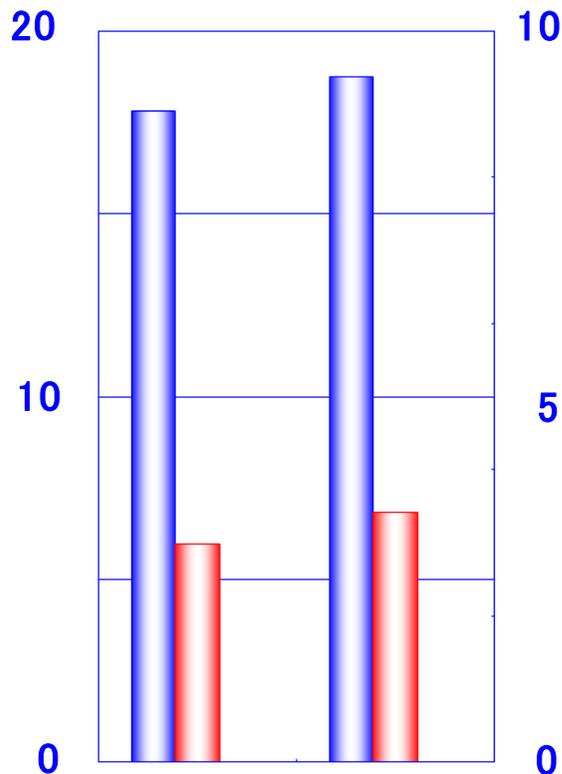
- ・農耕地向け除草剤の需要が輸出を中心に堅調に推移したが、家庭園芸向け除草剤の需要後退等により減収

売上高  
（億円）

営業利益  
（億円）

売上高  
（億円）

営業利益  
（億円）



物流関連 ・国内外での経済活動の回復に伴い輸出取扱量が堅調に推移したこと等により、増収

2021年度 通期累計    2022年度 通期累計

## Ⅱ．2023年度・業績および配当予想

## ・連結業績予想

(単位:百万円)

科目	2022年度実績	2023年度業績予想
売上高	43,324	47,000
営業利益	3,701	3,900
経常利益	4,211	4,300
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,223	2,400

- ・売上高は、堅調な需要が見込まれる機能性色素等の増加を見込んでおり、増収の予想
- ・営業利益は、中期経営計画に掲げる施策の実施による先行投資等の費用増加等が影響し、微増の予想

## ・配当予想

年間配当：75円／株

＜中間：37.5円／株、期末：37.5円／株＞

「ステークホルダーへの還元に関する方針」に基づき内部留保と株主の皆様への還元のバランスを適切に図ることとしております。

配当については、株主資本配当率(DOE)の向上を長期的な課題と捉え、且つ、安定的・継続的で適正な株主還元の実施を重視し、2023年度の配当については、2022年度比で年間10円／株の増配を予定しております。